

平成23年6月16日
於
府中市立教育センター

平成23年第6回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成23年第6回府中市教育委員会定例会会議録

1 開 会 平成23年6月16日(木)

午後1時35分

閉 会 平成23年6月16日(木)

午後3時18分

2 会議録署名員

委 員 崎 山 弘

委 員 齋 藤 裕 吉

3 出席委員

委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘

委 員 北 島 章 雄 委 員 齋 藤 裕 吉

教育長 糸 満 純一郎

4 欠席委員

な し

5 出席説明員

教育部長 高 橋 脩 二 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄

教育部次長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部次長 後 藤 廣 史

兼総務課長 兼文化振興課長

教育部副参事 小 椋 孝 文化振興課長補佐 時 田 浩 一

兼指導室長 ふるさと文化財課長 英 太 郎

総務課長補佐 月 岡 敏 浩 ふるさと文化財課長補佐 江 口 桂

兼学校耐震化等推進担当副主幹 生涯学習スポーツ課長補佐 古 田 実

教育プラン21推進担当理事 生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之

田 中 陽 子 図書館長 峯 尾 達 也

学務保健課長 中 村 孝 一 図書館長補佐 坪 井 茂 美

学務保健課長補佐 市 川 直 次 美術館副館長 山 村 仁 志

給食担当副主幹 須 恵 正 之

指導室長補佐 桑 田 浩

指導室副主幹 新 藤 純 也

指導主事 国 富 尊

指導主事 大 津 嘉 則

指導主事 山 本 勝 敏

6 教育委員会事務局出席者

総務課係長 田 中 啓 信

総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議 案

第19号議案

府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

第4 報告・連絡

- (1) 寄付に対する感謝状の贈呈について
- (2) 平成22年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況について
- (3) 府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- (4) 府中市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- (5) 平成23年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について
- (6) 平成22年度文化振興及び文化財保護・普及事業結果について
- (7) 平成22年度生涯学習関連事業について
- (8) 平成22年度社会体育事業結果報告について
- (9) 平成22年度図書館利用状況について
- (10) 平成22年度美術館関連事業について
- (11) 府中市育成音楽団体チャリティーコンサートの開催について
- (12) ふるさと府中歴史館展示ガイドツアーの実施について
- (13) 郷土の森博物館特別展「発掘！府中の遺跡 縄文土偶のナゾをさぐる&調査速報」について
- (14) 郷土の森博物館の臨時開館日の変更について
- (15) 平成23年度プール開催予定について
- (16) 平成23年度平和啓発事業について
- (17) 所蔵品展「ぱれたんと遊ぼうー絵の国のなつやすみ」について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時35分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成23年第6回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、崎山委員と齋藤委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第19号議案 府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程

○委員長（久芳美恵子君） 議案の審議に入ります。

第19号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） それでは、第19号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程につきまして、ご説明いたします。

これにつきましては、国におきまして、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律、及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成23年4月22日に公布されました。この法改正により、市町村教育委員会が学級編制を行う際の都道府県教育委員会の関与のあり方が見直されます。これまで市町村教育委員会が学級編制を行う際には、あらかじめ都道府県教育委員会に協議し、その同意を得なければなりませんでした。これからはその事前の協議が必要なくなり、市町村教育委員会が学級編制を行ったときは、遅滞なく都道府県教育委員会に届け出ることに改められます。

資料の新旧対照表をご覧ください。第18条別表第2の個別権限事項表教育部学務保健課学務係の表中の第7項、「学級編成の同意を申請すること」を「学級編制について東京都教育委員会に届け出ることに、指導室教育センター表中の第41項、「特別支援学級学級編成の同意を東京都教育委員会へ申請すること」を「特別支援学級学級編制について東京都教育委員会に届け出ることに、それぞれ改正いたします。

また、この規程では、これまで学級編成の「成」に「なる」の字を使用しておりましたが、法律上の文言は制度の「制」の字ですので、学務保健課の学務係の表中の第6項、指導室教育センターの表中の第40項の用語をそれぞれ改めます。

最後に、この規程は、平成24年4月1日から施行いたします。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございました。

事務局の説明が終わりましたが、何かご質問はございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。法の改正に伴っての文言の変更、そしてまた文字の変更ということでございますけ

れども、はい、お願いいたします。

○委員(糸満純一郎君) ちょっと1点、確認の意味でお尋ねします。今まで同意の申請ということから、今回は届け出ということに変わりますけれども、これは逆に言えば、市教委の権限が広がったという理解でよろしいのでしょうか。

○学務保健課長(中村孝一君) ご指摘のとおり、市の教育委員会の権限が多少広がったといえますか、裁量の範囲が広がったと考えております。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ほかにはよろしゅうございましょうか。

それでは、お諮りいたします。第19号議案、府中市教育委員会事務局職務権限規程の一部を改正する規程について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長(久芳美恵子君) 全員異議なしでございますので、原案どおり決定いたします。

議案は1件のみでございます。



◎寄付に関する感謝状の贈呈について

○委員長(久芳美恵子君) 次に、報告・連絡に移ります。

報告・連絡の(1)につきまして、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹(月岡敏浩君) それでは、資料1の寄付に対する感謝状の贈呈についてをご説明いたします。

今回は1件でございます。

寄付先は、府中市立南町小学校でございます。

寄付品名は、長胴太鼓(四角台座付)3組、8万7,000円、長胴太鼓(八の字高台座付)1組、4万5,000円、締太鼓(立台座付)1組、1万8,000円、金額は合計で32万4,000円相当でございます。

寄付者は、富士見台地区自治会会長、國分治司氏で、受領日は、平成23年6月3日でございます。

府中市教育委員会表彰規定により、10万円相当額以上の寄付となりますので、感謝状を贈呈したいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) 寄付でございます。大変ありがたいことでございますが、寄付に対する感謝状の贈呈について、いかがでございましょう。ご意見等あれば。

それでは、報告・連絡(1)寄付に対する感謝状の贈呈について、了承いたします。よろしくお願いいたします。



◎平成22年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、報告・連絡(2)、同じく総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹(月岡敏浩君) それでは、平成22年度府中市立八ヶ岳府中山荘の利用状況がまとまりましたので、ご報告いたします。

資料2をご覧いただきたいと思えます。上段の大きい表は、平成22年度の月別の市内、在

勤、市外の利用者の延べ人数で、右側は部屋の稼働率となっております。また、下段の小さい表は、平成21年度及び22年度の延べ利用者数などの比較となっております。

下段の表で概要をご説明させていただきます。平成22年度の総利用者数の合計は、1万5,204人で、対前年比377人、2.5%の増となっております。内訳といたしましては、一般の利用者では467人の減、自然教室・移動教室では844人の増となっております。これは第五中学校で1年生と2年生の2学年で自然教室を実施したことと、第三、第四小学校の2校でセカンドスクールを実施したことによる増でございます。

また、右欄の稼働率につきましては、平成22年度は29.8%で、対前年度比1.4%の減となっております。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 平成22年度の府中市立八ヶ岳府中山荘の利用状況のご報告でございますが、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

一つよろしいでしょうか。小学5年生のセカンドスクールが、今年本格実施になっておりますが、本格実施をした場合、また今年度ですね、平成23年度の利用者数というのは、かなり児童のほうは増えると思うのですが、この辺はどのような見込みをお持ちでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） 先ほどのセカンドスクールでの稼働率の関係でございますが、やはり全校で4カ月かけて行ってまいりますので、自然教室・移動教室のところは10月まで大きく人数のほうは増加すると考えてございます。

一方で、一般の利用者につきましては、ここのところで平日の分が減少となりますので、その分はこれから減るものという考え方を持ってございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） セカンドスクールは7月の中頃から8月いっぱいはありませんですよ。ですから、それ前後の利用が増えるということですが、人数的には、まだちょっと試算をしてみないとわからないというところですかね。

一つ、夏、8月に、これはやはり市内、それから在勤の方が生徒さん以上に多いということで、8月はセカンドスクールを避けたという、そういう理由もありますでしょうか。

○教育部長兼総務課長（吉野寿一君） 八ヶ岳府中山荘につきましては、いわゆる市民の方のご利用ということもございますので、8月の一番、八ヶ岳にとりまして条件的に一番いい状況もございますので、開けていただいている状況でございます。

ただ、このセカンドスクールの全校実施に当たって、今回の状況等を見ながら、今後どうなのかというところは検討していきたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました、ありがとうございます。

ほかにかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（2）平成22年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況につきまして、了承いたします。



◎府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

◎府中市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（3）と（4）、学務保健課、お願いいたし

ます。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正につきまして、資料に基づきご説明いたします。

まず資料3のほうなのですが、1の趣旨でございますが、この補助金は、保護者の経済的負担を軽減するための補助金でございます。今年度も国が国庫補助金限度額を一部引き上げるため、府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を次のように改正するものです。

2の内容でございますが、新旧対照表をご覧ください。下線の部分が変更となったものです。別表第1と別表第2のとおり、全補助区分の補助金が3,200円から4,000円引き上げられました。

付則として、この要綱は、平成23年6月2日から施行し、この要綱の改正後の府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の規定は、平成23年4月1日から適用いたします。

続きまして、資料4の説明をさせていただきます。府中市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正についてご説明申しあげます。

この補助金は、公立幼稚園に就園する保護者に対して交付する補助金でございます。公立幼稚園は、保育料が1万円でございます。私立幼稚園と比較すると安く設定されております。そのため、補助金の対象者は生活保護受給世帯、市民税非課税世帯、市民税所得割非課税世帯に限定されております。

1の趣旨でございますが、先ほどの私立幼稚園就園奨励費補助金と同様に、保護者の経済的負担を軽減するため、国が国庫補助金限度額を一部引き上げたことに伴い、府中市立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正するものでございます。

2の内容につきましては、ページをめくっていただきまして、新旧対照表をご覧ください。別表第1と、次ページ、別表第2に記載のとおり、下線の補助金部において1,000円引き上げられました。

付則といたしまして、この要綱は、平成23年6月2日から施行し、改正後の府中市立幼稚園就園費補助金交付要綱の規定は、平成23年4月1日から適用になります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

府中の公立、私立の幼稚園に通うお子さんの親御さんに対して、経済的負担を軽減するための補助金の交付、その一部改正、具体的に言えば、私立のほうは3,200円から4,000円の値上げ、公立のほうは1,000円の値上げということでございましょうか。この報告・連絡の(3)、(4)につきまして、いかがでございましょう。ご質問、ご意見ございましょうか。はい、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） 補助金の交付の仕方ですね。これはどういう形態になっているのでしょうか。直接、本人、保護者に支払われるという形なのか、それを教えてください。

○委員長（久芳美恵子君） よろしく申し上げます。

○学務保健課長補佐（市川直次君） 就園奨励費補助金につきましては、園に、園長あてに交付いたしまして、園から保護者のほうに交付金が行くようになっております。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） 園のほうから保護者にとということでございますが、よろしゅうご

ざいでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにございますでしょうか。

補助金が多くなるということは、保護者にとっては大変ありがたいことだと思います。

特にご意見等なければ、報告連絡（3）、（4）、府中市の私立幼稚園の就園奨励費補助金交付要綱の一部改正、（4）は府中市の公立幼稚園の就園奨励費補助金交付要綱の一部改正、両方も了承いたします。よろしく願いいたします。



◎平成23年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（5）でございます。指導室、お願いいたします。

○指導主事（国富 尊君） 平成23年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等につきまして、お手元の資料5をもとにご報告申し上げます。

平成23年度は、新しい学習指導要領の趣旨等を踏まえまして、思考力、判断力、表現力の育成や、言語活動の充実に関することを研究の主題に設定している学校が9校、基礎・基本の習得と活用する力の育成を主題とする学校が1校、体力の向上を主題とする学校が2校、豊かな心の育成や、個に応じた指導に関する主題が2校の、計14校を研究協力校として指定いたしました。

研究協力校のうち、今年度、研究成果の発表を予定している学校は、小学校8校、中学校1校で、表の右側にお示ししました日程でございます。委員の皆様には、ご都合のつく範囲で研究発表会に御参加いただきまして、各校の研究成果をご覧いただきますとともに、ご意見をいただければ幸いです。

以上で報告を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 本年度研究協力校についてでございますが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） 研究協力校の指定に当たって、各学校に対して、今の教育課題はこういう方向にあるから、こういう方角の研究を推進してほしいというような指導室のほうからのご指導はおありだったのでしょうか。お願いします。

○委員長（久芳美恵子君） はい、いかがでございましょう。

○指導主事（国富 尊君） 今年度は、小学校の学習指導要領全面実施、また次年度の中学校の全面実施等を踏まえまして、まず第一に、学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえた研究の実施、また、市の教育課題等を踏まえまして、体力の向上ですとか、それから豊かな心の教育の充実、こういったことを各学校にお示ししまして、研究協力校に申し込んでいただきますようお願いを申しあげております。したがって、学習指導要領の実施と、それから市の教育課題等を解決するための研究という形でお願いをしているところです。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでございましょうか。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。研究協力校という言い方をするわけですので、ぜひ指導室の指導性というのでしょうか、ぜひこういう方向で推進してほしいという、そういう方

向性をどんどん学校の方にはお伝えいただきながら、研究活動を推進していただいたほうがよろしいのではないかなと思っていたものですから、このような質問をいたしました。この後の指導もまたよろしく願います。

○委員長(久芳美恵子君) ほかにいかがでございましょうか。

14校という、本当に3分の1以上の学校が研究協力校として研究をなさっていらっしゃるということは、本当に素晴らしいことだなと私は感じております。やはり校内の研修が一番、子どもたちのためにもなるし、教員自身の力量のアップにもなるのではないかと感じておりますので、そう思うわけでございます。

はい、よろしく願います。

○委員(齋藤裕吉君) これを見ますと、発表予定日、一覧にございますけれども、時期というものがあるかとは思うのですけれども、多少、接近している発表日もあるようにも見えます。せっかく中身のある研究をしていただいておりますので、計画的に各先生方が参加できるようにしてほしいなと願っておりますけれども、ちょっと、今年度のことではないのですけれども、時にはちょっと寂くなるような参加者の状況というようなケースもたまにありますので、ぜひ校長会のほうの協力をいただいて、その研究成果を府中全体のものに還元していくという、そういう実質的な参加の確保をできるようにご指導いただければありがたいなと思っております。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。私も全く同感でございます。先生方が本当に一生懸命、研究してくださるのが、その学校だけではなくて、府中市全体で共有できればいいという齋藤委員のご意見、本当にそのとおりでと思います。ぜひそのような形で、多くの先生方がご参加できるようなことになりましますように、ご指導をお願いいたします。

ほかにいかがでございましょう。よろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡(5)平成23年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について、了承いたします。よろしく願います。



◎平成22年度文化振興及び文化財保護・普及事業結果について

◎平成22年度生涯学習関連事業について

◎平成22年度社会体育事業結果報告について

◎平成22年度図書館利用状況について

◎平成22年度美術館関連事業について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、報告・連絡の(6)、(7)、(8)、(9)、(10)、この五つにつきまして一括して文化振興課、お願いいたします。

○文化振興課長補佐(時田浩一君) それでは、文化スポーツ部の平成22年度事業の結果につきまして、一括してご報告いたします。

まず資料6をご覧ください。平成22年度文化振興及び文化財保護・普及事業結果についてご報告いたします。

1の青少年に関する事項は、(1)青少年音楽祭の開催状況、(2)青少年音楽団体の活動状況でございます。

2は文化事業奨励に関する事項で、会場及び器具使用料の一部を援助したものでございます。

3は埋蔵文化財発掘調査の状況で、調査件数は、民間企業等の開発、個人住宅の建設等、保存目的、市の事業、東京都埋蔵文化財センター、民間調査組織による調査を合わせまして61件、平成21年度の55件に対しまして6件の増となっております。

4は文化財保護・普及に関する事業で、(1)は指定文化財の件数、平成22年度はJR府中本町駅前の武蔵国府跡御殿地地区が国の指定文化財に追加指定されました。(2)補助事業は、府中市史談会の活動に対するものです。ページをめくりまして、(3)は平成22年度に実施した、国府ロマン交流祭に引き続き開催した「ふるさと再発見！武蔵府中歴史まつり2010」の開催状況、(4)は展示・活用事業、(5)の文化財保存・整備事業は記載のとおりでございます。

次に、5はふるさと府中歴史館整備事業で、施設の開設準備と工事などを実施したものでございます。

6は郷土の森博物館の入館者とプラネタリウム観覧者の人数で、本年度から表記を一部改めました。表の上段が博物館全体の入館者数で、右の合計欄31万3,922人になります。表の下段が全体の入館者の中のプラネタリウム観覧者数で、7万2,683人となっております。プラネタリウムの高い人気と、猛暑による水遊びの池の人気などにより、前年度の入館者数を上回っております。また、次の特別展示会等の開催状況は、記載のとおりでございます。

続きまして、資料7をご覧ください。平成22年度生涯学習関連事業についてご報告します。

1の平和啓発事業としましては、記載のとおり、夏休み・子どもバスツアー、平和展、平和のつどいを実施し、平和コンサートにつきましては、東日本大震災の影響により中止いたしました。

2の憲法講演会は、子どもの人権に関する講演会を開催しました。

3の公民館事業としましては、あすなろ学級などの全市的公民館事業、各文化センターなどでの地区公民館事業を実施いたしました。

ページ移りまして、4、5、6、7、8の定例事業は記載のとおりでございます。

9のセミナー関係事業としては、生涯学習センターで教養セミナー、実技セミナー、スポーツセミナーなど86講座を527回行い、延べ2万3,524人の市民が受講しております。

また、10のイベント事業として、9月には市民の学習成果の発表の場として、第17回生涯学習フェスティバルを開催し、1万2,076人の参加がありました。

なお、生涯学習センターの利用状況でございますが、次のページに記載のとおり、合計36万9,988人の市民が記載の施設を利用しております。平成21年度に比べて5,714人減っているのは、東日本大震災の影響による温水プールの閉鎖などが主な原因と考えております。

続きまして、資料8をご覧ください。平成22年度社会体育事業結果報告となります。

社会体育としましては、指導者育成をはじめ、スポーツ教室や各体育館での事業を通じまして、市民が身近なところで気軽にスポーツ活動ができるよう、さまざまな事業を展開し、スポーツの振興に努めました。

1の社会体育指導者育成事業は、体育指導委員をはじめ、地域の協力者の資質向上として、府中コミスポ協力者研修会など、記載の講習会を実施いたしました。

2のスポーツの生活化推進事業は、市民が自主的に進めるスポーツ活動にスポーツリーダー

等を派遣いたしました。

3の社会体育奨励事業は、秋季都民大会23種目に404人の市民代表を派遣するなど、記載の各大会や講習会を実施いたしました。

4の市民スポーツ教室は、日常生活にスポーツを定着させるために、カローリングなどを紹介したニュースポーツ体験教室を初め、記載の各種教室を実施いたしました。

ページ変わりました、5の市民体育大会運営事業及び6のスポーツ大会運営事業は、日ごろの市民のスポーツ活動の成果の発表の機会として、記載の大会を実施いたしました。

7のレクリエーション事業は、家族や仲間と楽しめるスポーツに触れ合える機会といたしまして、市内を活動拠点としている6チームの協力によるボールふれあいフェスタなど、記載の事業を実施いたしました。

8の郷土の森総合体育館スポーツ活動事業及び、次の9の地域体育施設スポーツ活動事業は、60歳以上の市民が対象の高齢者健康づくり教室など、記載の各種教室を実施いたしました。

10の補助事業は、府中市体育協会加盟団体などが、市民を対象として実施しております各種事業に対して、その経費の一部の負担を行うなど、記載の補助事業を実施してございます。

続きまして、資料9をご覧ください。平成22年度図書館利用状況についてご報告します。

平成22年度の中央図書館と地区館を合わせました図書貸出冊数は約220万冊、視聴覚資料を合わせた貸出総合計では、全館で260万点強となり、前年度と比べ若干減少となりました。これは、東日本大震災及び計画停電に伴う開館日数の減少、また、年間を通じて宮町図書館の休館によるものでございます。

裏面に移りまして、子どもたちへのサービスでは、定例おはなし会、ちいさい子のためのおはなし会を合わせまして330回開催し、4,165名の参加がありました。また、小・中学校への学級貸出は、延べ3,071学級、1万4,100冊となっております。データベースの利用等については記載のとおりで、使えるデータベースを増やし、PRを行い、市民の調査に役立てていただけるよう努めました。中央図書館の来館者は約104万人に上りまして、前年度同様100万人を超え、引き続きたくさんの方の市民の皆様にご利用いただきました。

最後に資料10をご覧ください。平成22年度府中市美術館関連事業についてご報告します。

1の展覧会は、記載のとおりです。府中市美術館開館10周年記念「バルビゾンからの贈りもの」展、期間中における10月17日の府中の森の文化まつりの日は、乳幼児連れの家族から年配の方まで、幅広い年齢層の入場者でにぎわいました。

また、2の教育普及事業のほうでは、NPO、ボランティアの協力によるティーンズスタジオを初め、公開制作やワークショップなどの関連プログラムの充実に努めるほか、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室を実施しました。

3の市民ギャラリーでは、市内で活動するグループや個人の展示を初め、市民芸術文化祭や北多摩地区中学校美術展などに利用されました。

1の展覧会、2の教育普及事業、3の市民ギャラリー入場者を合わせまして総来館者数は延べ29万6,203人となりました。

4の収集美術作品は記載のとおりで、高橋由一作「墨水桜花輝耀の景」1点を購入し、寄贈が3点でした。

以上で、文化スポーツ部各課の平成22年度事業報告の説明を終わります。どうぞよろしく

お願い申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。（6）から（10）まで文化スポーツ部の各課が平成22年度に行いました事業についてのご報告でございます。

まとめてというわけにはいかないで、ご意見がない場合には次に参りますが、まず（6）の文化振興及び文化財保護・普及事業の結果につきましては、何かご質問ございますでしょうか。特によろしゅうございましょうか。はい、お願いします。

○委員（糸満純一郎君） 裏面の6番の郷土の森博物館利用状況ですが、平成22年度から集計の方法を変えたということですがけれども、プラネタリウムの入館者を累計で足していたのですけれども、それを別に分けたということなのではないでしょうか。その辺、もうちょっと詳しく教えてください。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） 郷土の森博物館利用状況の数字でございますが、入館者と観覧者の表を上下に切り離しをさせていただきまして、まず入館者数の合計欄31万3,922人がプラネタリウムも含めた郷土の森博物館全体の入館者数でございます。そのうち観覧者数の欄、合計7万2,683人は、有料としてプラネタリウムを観覧していただいた数を下の欄に記載をしております、入館者、観覧者をこのように表記を分けさせていただきました。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） （6）につきまして、よろしゅうございましょうか。

それでは、（7）生涯学習関連事業につきましては、いかがでございましょうか。震災での閉鎖関連で、若干、人数が減っているようなところもあったようでございますが、何かございませうでしょうか。

一つ、私、これは感想なのですけれども、2の憲法週間事業に関する事項で講演会がございましたよね。弁護士の磯谷さんのお話、拝聴いたしました。とてもよかったというか、私も勉強になったわけでございますが、何か参加者が非常に少なくて残念だったなと思います。この辺が、憲法講演会という、かたいというイメージがあるのかもしれない。もうちょっとこう、一般の方が、ああ、こんなことだったら聞きに行きたいなというのが、これはタイトルにもなるのでしょけれども、「なくそう児童虐待」というのは、まさにそのもののタイトルだったのですけれども、非常によい講演会ただけに、参加人数が少なくて残念だったなと思っております。おそらく関係者の方々もそのように思っているのではないかと思っています。

（7）につきまして、よろしいですか。

それでは（8）に行きます。社会体育事業の結果報告、これはいかがでございましょうか。

○委員（糸満純一郎君） この大きな1番で、コムスポリーダー、府中コムスポ協力者というような表記が出ていますけれども、これの内容はどういうことなのかということが1点と、これは何かの略なのか、これが正式名なのか、その辺を教えてください。

○委員長（久芳美恵子君） お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 府中コムスポリーダー及び府中コムスポ協力者についてでございますが、府中コムスポ協力者として、府中市民の健康維持増進及び地域のコミュニティの活性化を目的とした活動に協力していただく方々をコムスポ協力者と言っております。

ます。その中でもリーダー的存在の方たちのことをコミスポリーダーと位置づけているところ
です。また、コミスポでございますが、コミュニティスポーツの略称となっております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいでしょうか。

私のほうから1点、9の地域体育施設のスポーツ活動の事業でございますが、いろいろなど
ころでいろいろな活動をしていらっしゃるということがとてもよくわかりました。ちょっと気
になったのは、朝日体育館スポーツ教室が1種目で616人と、他のスポーツ教室、他館の事
業に比べて種目、人数が少ないというのは、これは何か特別な事情がございますでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） この中の朝日体育館だけは、地域体育館とは別の
位置づけで運営しております。そのため、ここには体育館指導員が常駐していない状況でして、
そのほか6館において主な活動をしている状況となっております。ただ、この朝日体育館スポ
ーツ教室の1種目というのは、60歳からの健康づくり教室という事業を行っておりまして、
この事業については、とても人気のある事業ということで、1種目ということになっておりま
す。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。ほかの地域体育館とは違う位置づけであるとい
うこと、常駐の指導員がいらっしゃらないということ、わかりました。種目としては、その60
歳からの健康づくりということで、人気があると。これはもう朝日だけでなく、ほかでも多分
おやりになっていらっしゃると思いますけれども、大事な活動だと思います。ありがとうございます
いました。

(8)について、ほかにございませんでしょうか。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） いろいろな事業をなさっていると、市民の皆様のために事業を展開
しているということでこれを受けとれるのですけれども、その事業そのものについて予算がつ
いているのでしょうか。その予算と、その人員対比というのはどのような形であらわすとい
うのか、場所だけの提供で、人数はこれだけ参加とか、それから市の予算が一定で人数がこれ
だけで、前年より予算が削られたにもかかわらず参加人員がこうだったというような、そのよ
うな評価だとちょっと見やすいかなと思っているのですけれども、予算的なものとの兼ね合いと
いうのはできないのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでございますでしょうか。はい、お願いします。

○文化スポーツ部次長兼文化振興課長（後藤廣史君） 予算と事業ということで、あわせてご
報告というような形が一番よろしいのでしょうかけれども、今までは事業を報告するという形
もって、この教育委員会の方に報告をしようというような取り組みで今までまいりました。
ということで、それを踏襲する形で、こういう事業の内容ということでお話をしております。
もし、仮にその予算的なことということですと、1枚や2枚ではとてもご報告もおさまり切れ
ません。ほかにもいろいろなことがございますので、それとあわせてということですと、資料
的にも膨大ということでございますので、まず委員さんには事業の内容をご報告させていただ
いて、それでご理解いただいて、何かございましたら、またお問い合わせいただくというよ
うなことでお願いしたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。多分、北島委員がお聞きになりたかったことは、

予算が削られている、増えるということはこの時期ですからないと思いますが、予算が削られている中で皆さんが頑張ってやっていただいているという、それがわかると、よりいいかなということなのではないかと思います。

よろしいですか。

それでは、報告・連絡（9）図書館利用状況でございます。はい、お願いします。

○委員（崎山 弘君） データベースの利用者が年間341名、この中に、多分、私が2か3、入っているのですけれども、これは知っているとは非常に利用価値があるのです。先ほど説明の段階で周知しているということを言われていましたけれども、もう少し何か利用される方がいてもいいのではないかと、知られていないのではないかなということをおもいました。

あと、このデータベースというのは、基本的には、例えば市役所の方、行政の方も資料作成とか、利用はできるものだと思うのですけれども、市役所の方がこれを利用するということはあるのでしょうか。それとも、市役所は市役所で別のデータベースがもう既に法人契約などで加入されていて、市役所の方が図書館に行って使うということはないのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょう。

○図書館長補佐（坪井茂美君） データベースの利用につきましては、昨年度もご指摘がありましたように、増えるようにということで、利用が多い新聞などを検索するデータベースを増やして、お客様に周知をしているところです。

市役所につきましては、市役所の職員がそのままデータベースを使うことはできませんで、図書館においていただいでご利用いただけるようになっております。ただ、ヨミダス歴史館という読売新聞のデータベースにつきましては、中央図書館のみではなく、地区図書館でも検索できるように、職員がカウンターでの対応になりますが、できるように仕組みを変えてございます。

以上でございます。

○委員（崎山 弘君） 市の職員の方は、こういうデータベースがそこに行けばできるということは、皆さん、知っていることなのではないでしょうか。実を申しますと、今回ちょっと予防接種に関して、健康推進課のほうから裁判の判例について問い合わせがあつて、いや、図書館でとりましたよと言ったのですけれども、その図書館でとったものを私がコピーして渡したということなので、知っているならそっちでとればいいのにとちょっと思ったのでお伺いしたのですけれども、市役所の方も、こういうものがあるから行政上も十分利用価値があるものだと、むしろ市の方に知らせてあげたほうがいいのではないかと思いました。

○図書館長補佐（坪井茂美君） おっしゃるとおりです。周知は確かにしておりませんでしたので、行政サービスとしていろいろな資料を提供してございますが、データベースの周知につきましても、同様にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

○委員長（久芳美恵子君） よろしく願いいたします。

ほかによろしいでしょうか。お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） 最近、電子書籍というようなことがよく出てきておりますけれども、それをどうこうするというのではないにしても、そういう問題と紙の本というもののすみ分け、使い分けというのでしょうか、そういったことも今後、いろいろ、こういう出版物等を扱う分野においては、論議はしていかなければいけないのではないかなと思うのですけれども、

何かそういう話、論議になったことというのはありますでしょうか。

○図書館長(峯尾達也君) 今言われたとおり、やはり電子書籍につきましては、今後、考えていかなければいけないものと私たちも思っております。今までお使いになった方というのは、やはり紙ベースに執着しておりました、電子書籍に対しましては、かなり抵抗のある、そのような世代でございましたのですが、今後、電子書籍につきましては、そういう世代でなくなってくるので、今後の図書館の課題として、そのあたりにつきましてはまた検討して、前向きに実施していきたいと、そのように考えております。

○委員(齋藤裕吉君) 電子書籍、私も紙世代ですので、ぜひ導入をとということ、そんなに積極的にという気持ちも内心にはないのですけれども、でも、そういう時代になってきつつあるかと思っておりますので、紙の本の役目は何かとか、そういう電子化された情報、電子書籍のようなものの役目は何かという論議というか、こういったことはやはり図書館のお仕事をお進めいただく方々にも時々やっていただいていたほうがよろしいのかなと思ったものですから、そういう時代になってきたのかなと思ったものですから、発言させていただきました。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

学級貸出が3,071学級、1万4,100冊という、学校との連携ができてきているというのは、大変喜ばしいことだと思っておりますが、この学級の数を問題にするわけではないのですが、大体、府中の小・中学校33校が、すべての学校に貸し出しがあるのか、それとも、ある程度、偏った形なのか、その辺の、ちょっと大ざっぱなところなのですが、お聞きしたいのですが。

○図書館長補佐(坪井茂美君) こちらにつきましては、やはり若干、偏りがございます。ご利用いただいている学級に関しましては、定期的に月1回、もしくは2カ月に一遍ぐらいご利用いただいております、定期的にご利用いただいております。ただ、どうしてもご利用いただけない学校のほうがございますので、毎年、校長会を通じまして資料をお配りし、この制度について周知のほうをさせていただいております。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) そうですね。やはりこれ、特に学級貸出の場合に、学校のほうから図書館に出向いて借りるというわけではなくて、図書館のほうから持って行っていただけるということですね。ぜひ同じように本年度はまた特に力を入れて、子どもたち、なかなか本を読むということができなくなっている子どもたちが多いような気がいたしますので、校長会等々を利用させていただいて、どうぞ周知を図ってください。

(9)につきましては、ほかによろしゅうございますか。

それでは(10)の美術館の関連事業についてです。いかがでございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員(糸満純一郎君) 企画展、大変すばらしいものがこの年度も行われたと思っておりますが、その予定していた入場者数、あるいは1日平均の入場者数と、それから実際の入場者はどうだったのか、広告宣伝はどうだったのか、その辺、どうしても追われて先に先に行きますので、反省、検討の部分が少し手薄になるかなという感じを毎年受けているのですけれども、その辺の入場に関してどんなふうな、予定よりオーバーなのか、あるいは少なかったのか、それはどうしてなのか、その辺はどうでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） 歳入で考えていた予定よりも、かなり多くの方が来ています。

それ以前の美術館の平均、年間合計16万人とありますが、8万人から10万人ぐらいたったのですが、この年は開館10周年記念ということで、宣伝の方もかなりお金をかけてやっていますし、それから歌川国芳、ノーマンロックウェル、バルビゾンなどで軒並み2万人を超えています。これはかつてないことでした。1万人ぐらいたと見込んでいたのですが、平成22年度については通常、平年の2倍ということだったものですから、予定よりかなり入っているということです。その原因について、今後、おっしゃるとおり、いろいろと分析をしながら今後の運営に生かしていきたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平年の平均の2倍の入場者の数であったということで、その辺のところの理由については、また検討していただけるということでございます。

ほかにいかがでございましょう。よろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡（6）、（7）、（8）、（9）、（10）につきまして了承いたします。本当にご苦労さまでございました。



◎府中市育成音楽団体チャリティーコンサートの開催について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（11）につきまして、文化振興課、お願いいたします。

○文化スポーツ部次長兼文化振興課長（後藤廣史君） それでは、資料11に基づきまして、府中市育成音楽団体チャリティーコンサートにつきましてご報告いたします。

このコンサートは、府中市が育成しております音楽3団体によります、東日本大震災チャリティーコンサートでございまして、府中市青少年吹奏楽団の団長の宮崎さんが、このコンサートを通して被災者支援を行いたいと企画したもので、ほかの2団体、府中市少年少女合唱団と府中ジュニアウィンドオーケストラの賛同を得て実現いたしました。

3団体の設立は、青少年吹奏楽団が昭和40年、少年少女合唱団が昭和57年、ジュニアウィンドオーケストラが昭和59年の成立で、いずれも四半世紀、25年以上もの長い歴史を刻んでいる活動でございます。この3団体が合同コンサートを行うのは、今回、初めての試みで、義援金を集めて被災地へ送るといった目的の一つですけれども、このコンサートで被災者に対する支援の輪を広げること、そして一人でも多くの府中の市民にこの3団体の音楽活動を知ってもらいたいと考えてございます。

この3団体には、多くの市内の小学校児童、中学校生徒が参加しております。学校や学年を超えた音楽活動を通して、情操豊かな青少年の育成を目的に活動しておりますので、どうぞお出かけいただきまして、応援していただけますようご案内いたします。

日時は、6月19日、今度の日曜日、午後2時開演、会場はどりーむホールとなります。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。府中の青少年の団体三つが合同コンサートをするということでございます。チャリティーコンサートでございます。ご質問、ご意見

ございますでしょうか。

それでは、本当に一人でも多くの方々に来ていただけますよう、いろいろな方面からの広報をよろしく願いいたします。

それでは、報告・連絡（11）府中市育成音楽団体チャリティーコンサートにつきまして、了承いたします。



◎ふるさと府中歴史館展示ガイドツアーの実施について

◎郷土の森博物館特別展「発掘！府中の遺跡 縄文土偶のナゾをさぐる
&調査速報」について

◎郷土の森博物館の臨時開館日の変更について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡の（12）、（13）、（14）まで三つでございますが、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） それでは、ふるさと文化財課から、まとめて3件ご報告いたします。

報告・連絡（12）ふるさと府中歴史館展示ガイドツアーの実施について、資料12に基づきご説明いたします。

まず、1の趣旨ですが、4月1日に開館したふるさと府中歴史館は、武蔵国府を中心とする、ふるさと府中の歴史・文化の情報発信拠点施設として、本年4月1日に開館し、これまでに1万人の方が来館されました。今後もより多くの方々にご利用いただき、本市の歴史・文化への理解を深めていただけるよう、7月から展示ガイドツアーを実施するものです。

2の実施内容は、7月からの毎月第1・第3日曜日の午前11時と午後2時の2回、行います。定員その他は記載のとおりです。

なお、ふるさと府中歴史館と学校との連携ですが、指導室にもご協力いただき、小学校につきましては今月23日に第一小学校第三学年120人の児童が見学に来ていただくことになっております。また、中学校につきましては、先週、郷土資料編纂担当教員の方々がご視察いただくとともに、7月と10月には中学生職場体験学習を受け入れる予定となっております。今後とも積極的に市内の児童・生徒の皆さんに、ふるさと府中歴史館をご利用いただくよう努めてまいります。

続きまして、報告・連絡（13）郷土の森博物館特別展「発掘！府中の遺跡 縄文土偶のナゾをさぐる&調査速報」について、お手元のポスターを縮小した資料に基づきご説明いたします。

毎年、郷土の森博物館を会場として行っております特別展「発掘！府中の遺跡展」ですが、今回の展示では、縄文時代の土偶を取り上げるテーマ展と、平成22年度の発掘調査成果を速報として紹介する展示を行います。特に、夏休みに開催時期が重なるため、子ども向けにわかりやすく縄文土偶のナゾに迫りたいと考えております。

会期は、7月16日（土）から9月4日（日）まで、会場は郷土の森博物館本館1階、特別展示室です。会期中の8月7日（日）には、多摩市教育委員会及び本市職員による縄文時代の土偶をテーマとした講演会も開催いたします。ぜひご来場くださいますようお願いいたします。

最後に報告・連絡（14）郷土の森博物館の臨時開館日の変更につきまして、資料14に基

づきご説明いたします。

1の趣旨ですが、東京電力管内の夏期使用電力の抑制への取り組みとして、昨年度中に決定していた郷土の森博物館の夏期臨時開館日について、すべて休館日と変更するものです。

2の、臨時開館から休館に変更する日は、記載のとおりでございます。

以上でふるさと文化財課からの報告を終わります。よろしく願い申し上げます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。(12)、(13)、(14)でございますが、まず(12)につきまして、いかがでございましょうか。ふるさと府中歴史館展示ガイドツアーの実施でございます。

ちょっとお伺いしますが、この申し込みというのは、ここに書いてあるように、当日でよろしいわけですか。

○ふるさと文化財課長補佐(江口 桂君) はい。

○委員(齋藤裕吉君) 第一小学校の児童とか、それから中学生の職場体験というお話がありましたけれども、ガイドツアー、ガイドさんがついていただけるという形ですか。ぜひ専門家の話を聞かせてあげたいなという気持ちでおりますので、よろしくお願いします。

○委員長(久芳美恵子君) よろしく願いいたします。

(12)につきまして、よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡(13)郷土の森博物館特別展「発掘!府中の遺跡 縄文土偶のナゾをさぐる&調査速報」でございます。これにつきまして、何かご質問またはご意見ございましょうか。

ここに展示されます縄文土偶というのは、この多摩地区、府中も含めてだと思いますが、多摩地区から出土した土偶についての展示ということでございましょうか。

○ふるさと文化財課長補佐(江口 桂君) まず、府中市の本宿町遺跡という遺跡から出土した土偶を初めとしまして、多摩地域の近隣市から出土した、例えば多摩市やその他の地域から出土した土偶100点を以上集めて展示をさせていただく予定でございます。

以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) はい、お願いいたします。

○委員(齋藤裕吉君) このポスターに出ている土偶、これがそれであるということですか。

○ふるさと文化財課長補佐(江口 桂君) このポスターに出ている土偶の写真は、すべてこれは本宿町遺跡、府中市内から出土したものに限定してございます。

○委員(齋藤裕吉君) せっかく掲示されるのでしたら、ちょっとその辺がもっと入ると、こういうところで古代の人たちがつくっていたのかと見て、受けとめられるかもしれませんね。わかりました。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございましょうか。はい、お願いします。

○委員(崎山 弘君) ちょうどこの時期が夏休みと重なっているというふうに、さっきもご報告がありましたけれども、そのとおりなので、子どもたち、夏休みの宿題というのはないのかもしれませんが、何か穴埋めのプリントみたいなものを配って、宿題で行って見たらみたいにして、学校ごとに何かリンクするようなことって何かできないのかなとちょっと思ったのです。確かに行けと言ったらいけないだろうと思うのですけれども、こういうも

のをやっているというのを知らせるという意味合いで、そういう学校の先生方にも知らせて、そういう社会に特に興味のある方なんかは、そういうプリントを自由研究的なヒントみたいなものを渡してあげるといいうのも、興味を持ってくれる人が一人でも出ればいいぐらいのつもりで、学校教育に何か絡めてやっていただければいいのかなということを思いました。そういうことというのは、今、実際にされていたりするのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（江口 桂君） まず、来月の校長会でこの特別展のほうは周知をさせていただくとともに、子ども向けのキッズむぜおという夏休みの、まさに、今、委員さんがおっしゃっていただいた自由研究に使えるようなPRとして、キッズむぜおという博物館独自の子ども向けのPR誌を発行いたしまして、来月から各学校の方に配布をさせていただきますので、ぜひ学校との連携のツールとなるようにと考えております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしくお願いいたします。いつも博物館の展示は非常に、なぞなぞがあったり、ちょっと触れたり、非常に大人も楽しい工夫がたくさんなされておりますので、これも多分そういう形で展示をしていただけるのだらうと思います。ぜひ学校と連携をとって、多くの府中市の子どもたち、府中市だけではなくて、子どもたちが来られるといいなと私も思いました。よろしくお願いいたします。

（13）はよろしいでしょうか。

それでは（14）でございます。郷土の森博物館の臨時開館日の変更、これは夏期の臨時開館として昨年度中に決定しておりましたが、東京電力の電力使用の抑制に伴いまして、休館日とするということでございます。6日間でございますね。これはよろしゅうございましょうね。これはもう状況としてはどうしようのないことでございますので。

それでは、報告・連絡（12）から（14）まで、ふるさと文化財課の三つの報告・連絡につきまして了承いたします。



◎平成23年度プール開催予定について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（15）でございます。生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） それでは、生涯学習スポーツ課から平成23年度プール開催予定につきまして、別紙資料15によりご報告いたします。

市内にあります市営プールは、例年、学校の夏休み期間に合わせて開催しております。今年度は、市民プール、各地域プールは7月21日から8月31日まで、総合プールは7月16日から8月31日までの開催を予定しております。

プール施設の管理運営につきましては、民間業者に委託しております。事前に生涯学習スポーツ課が全施設を点検しておりまして、さらに先日、民間業者と打ち合わせ会を行いまして、全施設の点検結果を踏まえ、情報の共有を図りました。その後も民間業者に施設を点検させている状況でございます。また、プール開催の前にもう1回、民間業者との打ち合わせ会の開催を予定しておりまして、民間業者と開催準備等々の状況につきまして確認を行う予定でございます。利用者が安心して利用できますよう、安全管理、衛生管理に十分注意をして、事故の事

前防止に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平成23年度のプール開催の案内というところでございますが、いかがでございますか。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 8月2日の火曜日は障害者の方々に開放するため一般利用はできませんと書いてあります。障害者の方々は、それ以外の日でも利用はできるのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。郷土の森の総合プールのところですね。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 今、ご質問のありました障害者の方々のご利用でございますが、この開放日以外の日においてもご利用いただけるようになっております。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○文化スポーツ部長（齋田文雄君） ちょっと補足でございます。障害者の日と定めておりますのは、やはり障害者の方たちは、かえって周りの方たちに気を使うことがあるのですね。それから自閉症の方ですとか、大きな声を出したりして、周りの方にご迷惑をかけてしまうのではないかというような、障害者の方自身というか、保護者の方のそういう思いもございまして、夏休みの一日を障害者の方専用開放させていただきます。ふだんはもう障害者の方に来ていただいて、それを拒むようなことは全くございません。そういう状況でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ということでございます。

ほかにいかがでございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） 先ほどの報告の中にも、安全のために民間の業者にも点検させ、あるいは打ち合わせ会をするというふうな報告がございましたが、やはりぜひ、この排水口の金具に関しては、実際に固定しているかどうか、市の職員が目視ではなく、ちゃんと触って確認をしてもらいたいと思います。やはり、それは民間に任せてはいけない分野だと思っております。学校のプールも多分そうなのですが、毎年どこかで事故が起こるのです。ふたがずれていたとか、外れていた、その排水口に子どもが吸い込まれたとか、死亡に至らない事故は報道されませんが、毎年のようにある事故なのです。ですから、これは業者に任せるのではなく、必ず市の職員が触って、金具が動かないことを確認することを求めます。

○委員長（久芳美恵子君） そのようにお願いいたします。事故が起こってからでは、これは取り返しがつきませんので、どうぞよろしくお願いいたします。

ほかにはいかがでございますでしょうか。

ちょっと確認なのですが、市民プールのナイターですね。8月1日から20日までの週でございますが、これは6時から8時となると電気を使うわけですが、これはもし万が一、計画停電等の予定が入った場合には、その日はなしという形になるわけですか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 計画停電が実施された場合においては、これはもうやむを得ない状況でございますので、利用者の皆様に情報提供できるような形でお示しをしていきたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしくお願いいたします。そういうことがないように祈るばかりでございますが、ほかにもございますでしょうか。よろしゅうございませうか。

それでは、報告・連絡（15）平成23年度プール開催予定について、了承いたします。よろしくお願いいたします。

◇

◎平成23年度平和啓発事業について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（16）、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） それでは生涯学習スポーツ課より、平成23年度平和啓発事業につきまして、資料16に基づきご報告いたします。

1の趣旨でございますが、府中市では、昭和61年8月15日に、世界平和への願いと愛する郷土を未来に引き継ぐ決意のもとに「府中市平和都市宣言」を行いました。この趣旨に沿って、記載の事業を平和に関する啓発活動として実施するものでございます。なお、本年度は平和都市宣言25周年に当たることから、すべての事業を記念事業として実施いたします。

次に、2の内容でございますが、7月21日には、夏休み・子ども平和バスツアーを行い、しょうけい館などを訪れます。

8月6日には戦争体験談朗読会と映画会を兼ねた平和のつどいを開催し、8月2日から12日までは生涯学習センターにて、8月18日から24日まではルミエール府中において、府中市と近隣の戦時の様子や戦争体験関連の展示を行います。

9月には、郷土の森博物館におきまして、平和に関するパネル展示を、また来年の3月18日には、府中の森芸術劇場において平和コンサートを開催する予定となっております。

また、資料には記載しておりませんが、本年度は府中市が平和都市宣言25周年に当たることから、6月1日付で平和市長会議に加盟したことをここにご報告いたします。

本年度も、多くの市民に戦争の悲惨さなどを知っていただくことで、平和意識を高めていただきたいと考えておりますので、ご周知のご協力をお願いいたします。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平成23年度平和啓発事業についてでございます。ご質問等ございますでしょうか。バスツアー、平和のつどい、平和展、平和コンサートと、いろいろございます。いかがでございましょう。はい、お願いします。

○委員（北島章雄君） 夏休み・子ども平和バスツアーなのですからけれども、これは参加費用とかあるでしょうか。それから募集人員、定員は何名と決まっているのでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 参加料は特にいただいておりませんが、保険料として、お子様、その保険料の一部をいただくことになっております。

それと募集につきましては、40名を考えております。前回のバスツアー、昨年度のバスツアーにつきましては、38人の参加がございましたが、申し込んでも、兄弟で申し込んで片方の兄弟が行けなくなったりすると、2人とも欠席するというようなケースもあるので、若干、人数が少なくなってしまう結果となる場合があります。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでございましょうか。

特にございませんようですので、平成23年度平和啓発事業について了承いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

◎所蔵品展「ばれたんと遊ぼうー絵の国のなつやすみ」について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（17）、美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは美術館から、次回の企画展についてご報告いたします。まだチラシ作成中につきまして、そのコピー資料17をご覧ください。

平成23年7月16日（土）から9月4日（日）まで、夏休みの時期に、子どもたちに毎年好評の展覧会、今年度は「ばれたんと遊ぼうー絵の国のなつやすみ」と題して開催いたします。府中市美術館のマスコットキャラクターである絵の国の妖精ばれたんと、ばれたんの友達むら田が、所蔵作品を活用した七つのアトラクションを通して、絵の内容や美術の歴史、そして材質や技法をわかりやすく解説、案内いたします。

裏面をご覧ください。クイズの森、むら田庵、そっくりマシーン、かのこぎくんとローレンスせんせい、道はつづくよ、ばれたん島、北斎せんせいという七つのアトラクションでは、クイズや簡単な作業を通じて絵に親しみを持てるように工夫して展示してございます。作品鑑賞のさまざまな方法がわかる、子どもから大人まで楽しめる展覧会です。

また、1階の創作室では、ティーンズスタジオ夏休みスペシャル「うちわをつくろう」や、夏休み工作相談室、そして公開制作「渡り鳥計画イン府中」と関連ワークショップなど、ふだん美術や美術館にあまり親しみを持たない子どもたちや、大人でも楽しめるイベントを数多く用意しております。

以上で美術館の報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。「ばれたんと遊ぼうー絵の国のなつやすみ」というものでございますが、七つのアトラクションをつくっていただいています。何かご質問、ご意見ございますか。

むら田というのは、今回初めてですか。ばれたんはよく知っておりますが。

○美術館副館長（山村仁志君） 2年前から登場したキャラクターです。

ちなみに、今回初めて、ばれたんが口を開けました。

○委員長（久芳美恵子君） いろいろ工夫していただいて本当にありがとうございます。多くの子どもたち、特に中学生が結構、美術館に学級ごとに来るということが少ないようですので、ぜひその辺のところも校長会や、いろいろ教務主任会やらを通しまして、学校のほうにも周知していただければと思います。

よろしゅうございましょうか。それでは、報告・連絡（17）所蔵品展「ばれたんと遊ぼうー絵の国のなつやすみ」について、了承いたします。ありがとうございました。

それでは、その他でございますが、何かございますでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） ないようですので、第6の教育委員報告に移ります。教育委員報告をお願いいたします。

○委員（崎山 弘君） それでは崎山から報告いたします。

私は学校医をやっているのですが、この間、武蔵台小学校の春の定例の健診に行っていました。学校のほうも教育委員会で訪問するのですけれども、そういう形ではなくて、健診で行くと子どもたち全員と接することができますし、担任の先生、校長先生、副校長先生とも長く時

間をとってしゃべることができるので、非常にふだんの学校の姿が見られたのですが、おおむね皆さん健康で、和気あいあいと学校生活をしているなどというのがつぶさに見られてよかったなと思っております。

それから前回の、先月の教育委員会のときも、ここにこの赤い携帯電話があったのですが、セカンドスクールのホットラインの携帯電話なのですけれども、後日、多分、正式な報告があると思いますけれども、実際、今回、朝5時40分に1回、向こうから電話がかかってきました、おなかが痛い子がいるけれども、どうしたらいいでしょう。それこそ、我々が前回、視察に行ったときに同じような事例があったものですから、ちょうど同じような形になりました。結果的には受診しないで、昼まで待つか朝まで待って受診されたのだと思いますけれども、一応、機能しているなということを感じました。

以上です。

○委員(齋藤裕吉君) それでは齋藤のほうから報告をいたします。

前回の定例教育委員会以降ですけれども、運動会の視察の予定が多かったのですけれども、雨で流れたというか、延期になって、私のほうの予定と合わないのがたくさんあって、予定どおり回れませんでした。5月21日には府中第十小学校の運動会を視察してまいりました。建てかえ工事ということで、第二中学校のグラウンドを借りての運動会ということで、さぞかしいろいろ大変だろうなと思いながら、朝の準備段階から見せてもらいました。中学の校長先生、ほかの先生方も出勤していらっしゃるようで、小学校のほうの運動会の準備に非常に積極的に協力していただいております、両校の教育連携が非常によくできているなど、そんなようなことを朝の準備段階からよく見ることができました。お天気も大変よかったということで、広い運動場を使っただけの第十小学校の運動会、大盛況でございました。

それから5月28日、土曜日ですけれども、小雨の日でしたけれども、「JAZZ in FUCHU」ということで、私も鑑賞させていただきました。ルミエール府中で府中4小のハーモニーブリーズジャズオーケストラ、少年少女ビッグバンド、これを拝聴させていただきました。非常にはつらつとした、何といいましょうか、若木のような演奏というのでしょうか、すばらしいなと思いました。音楽担当がかわると、学校の音楽の中身というか、演奏活動が大きく変わってしまいがちなのですけれども、オンリーワンの学校文化ということで、このようなすばらしい積み上げをしてきたものだと思いますので、今後もぜひ発展させてもらいたいなと思いながら鑑賞してまいりました。

その後、今度は大人のスイングバックスという大人のビッグバンドの演奏がありまして、途中でクラリネットの谷口英治さんも加わって、谷口さんが入ってくると、何か雰囲気が変わるというのでしょうか、やっぱりプロだなという感じですね。出てくるクラリネットの音が、おお、という感じがこちらにも来るような音を出していらっしゃるようで、「ベニーグッドマン」とか、とても懐かしいメロディーを演奏していただきましたけれども、すばりしかったですね。聴衆の皆さんも大変喜んでいらっしゃるのがわかりました。府中の文化施策のレベルの高さということをととてもよく感じることができる、そういう一日でした。

それから6月4日、土曜日、これは府中第八中学校の体育祭を視察させていただきました。開会式での演技、競技での子どもたちの動き、とてもきびきびしていて、非常に意欲が感じられる、とてもよい運動会でございました。

あと予定した矢崎小学校と第四中学校につきましては、残念ながら雨天延期ということで日程が合いませんでしたので、視察ができませんでしたが、それなりの発表ができていたのだらうと思っております。

以上です。

○委員(北島章雄君) それでは、北島より報告させていただきます。

5月19日の定例会後のP連歓送迎会へ出席いたしました。P連の新しい体制のもと、退職、転任された校長先生、また新任校長先生のごあいさつ、また退任したP連の役員並びに新役員のあいさつと、大勢の方々の参加を得て行われた歓送迎会、学校と地域、保護者が緊密につながっている様子を拝見し、P連と学校との連携を今後もよい関係で維持していただきたいと思いました。

中学校の運動会は、5月22日の第五中学校と6月4日の第一中学校と第三中学校を見学いたしました。

第五中学校は校舎の改築のため、運動会を府中陸上競技場で行われておりました。午前中はすばらしい晴天だったのですけれども、3時ぐらいからですか、天候不順になって、僕は午前中しか行かなかったのですが、午後はどうなったかのかなと、ちょっと心配をしました。生徒たちは日ごろの練習の成果をいかに発揮し、校庭での記録と、それから陸上競技場での記録、陸上競技場でのほうがすばらしい記録が出るみたいで、その記録を陸上競技場の記録と、それから校庭の記録を分けていたというのを記憶しております。

それから6月4日の第一中学校の運動会なのですが、朝、英語版のラジオ体操、運動をやる前にラジオ体操が英語の掛け声で行われていたのですね。とても新鮮に見られました。そして、100メートル、200メートル、800メートル、1,500メートル走と100メートル二人三脚というのを見てまいりました。100メートル二人三脚、これを2人で、また記録がすごいんですね。歴代の記録をたしか塗りかえたのかな。新記録が出たと記憶しております。

第三中学校は午後から見学に行ったのですが、午後の部のほうだと、部活対抗リレー、大縄跳び、学級対抗リレー等、クラスとか部活で競技がなされていました。その後に、三中花笠踊り、フォークダンスマイム・マイム・マイムと、見ていて地域の方々、それと保護者の方々、楽しみで見えられていたのではないかなと思いました。そして、最後に実行委員長の女生徒のあいさつなのですが、当初の目的が達成できたのか、すごく感激しております、あいさつも途切れ途切れになっていたのですが、一生懸命話す姿勢に、聞いていた生徒とか見学に来られていた保護者、地域の方々がとても感激をしていたと思っております。

小学校の運動会なのですが、第二小学校の運動会、5月28日、29日が雨になりましたので、31日に行われました。平日にもかかわらず大勢の方々が見学に来られていて、芝生化された校庭での運動会を、また、新1年生になって、運動会の練習も少ない時間の中でやってこられたのですが、とても練習の成果を競技に、また演技に思う存分発揮し、すばらしい成果を得られたのではないかなと思いました。

以上です。

○委員(糸満純一郎君) それでは、糸満からご報告させていただきます。

5月20日に学校評価委員が新しく発足したということで、後ほど関連のご報告もあるよう

でございますが、出席いたしまして、よろしく申し上げますということでごあいさつをいたしました。

5月22日に、府中市、府中消防署、消防団、三者合同による水防防災訓練に参加をいたしました。

5月25日に、市民表彰式がございまして、その中で教育功労者として武蔵台小学校の酒井校長先生も表彰者の1人として受賞をなさいました。

5月26、27日と、岐阜市で開催されました全国都市教育長会研修会に参加をいたしました。この研修会終了時に、特に宮城県白石市の教育長さんが発言を求められまして、白石市も研修会に参加するような状況にはとてもないのだけれども、県下の他の市の教育長さんから、ぜひ行ってごあいさつしてきてくれと言われたので来たということで、各市、県の人的な支援、あるいは子どもたちの作文等が全国から寄せられて、本当に力になっているというお礼のごあいさつが非常に印象に残りました。

5月28日に、国際ソロプチミスト東京府中のクラブユースフォーラムというという高校生の作文のコンクールなのですが、それがございまして、ごあいさつを申しあげました。その中で、ウズベキスタンから東京外国語大学に留学されているというような女性の方が民族衣装を着てウズベキスタンの国内状況等のお話をしていただきまして、本当に国際色豊かで、いい講演だったなと思いました。

5月30日に生涯学習審議会、これも新たに新年度、発足いたしまして、ごあいさつと、それから新たな諮問のお願いをいたしました。

それから6月1日に、租税教育推進協議会が開催されまして、若いうちにぜひ租税の大切さを勉強してもらいたいということで集まっている協議会ですが、学校の方が、今度逆に新学習指導要領ということで、授業の内容がタイトになっているということで、これは他の地域も同じようなのですけれども、なかなか租税教育のために時間を割いてもらえることが、少し機会が少なくなってきたかなというような印象を持ちました。

6月3日に、府中国際友好交流会の懇親会に出席してまいりまして、日ごろ府中の子どもたちがお世話になっておりますので、御礼を申しあげてまいりました。

6月4日に、先ほど北島委員からも報告ございましたように、私のほうは本当は第七中学校でございましたので、最初に第七中学校の運動会に行つてまいりまして、帰り、うちの近所ですので、第一中学校にも寄らせていただいて、ちょうど第一中学校の校庭は比較的大きいほうで、第七中学校が一番小さいのですね。そうすると、200メートルのトラックがぎりぎりとれるのですけれども、3レーンしかとれないということで、確かに、今、議会でも話題になっておりますけれども、隣の武蔵台小学校とのいろいろなやりくりの中で、もう少しグラウンドを広くとれないかなというようなことを、私自身も実感として感じてきた次第でございます。

それから6月6日から第2回市議会定例会が始まりまして、現在も開催中ですが、6月7日、8日と一般質問がございました。次回の教育委員会でそれぞれの部長さんからご報告をいただけるものと思っております。

それから6月8日に、東京府中ロータリークラブが、学校のふだん地道に教育活動をされている先生方にスポットを当てて表彰していただくということで、毎年やっていたのですが、今年も7名の先生が表彰を受けられました。

それから6月10日に、教育委員会を所管している文教委員会が開催されまして、その中で放射能汚染の関係で学校の校舎、校庭の利用判断、暫定的な目安、国が出しておりますが、そのまま使用していいのか、市の方はもう少し厳しい基準に見直してください、そういった意見を国に上げてくださいという陳情でしたけれども、いろいろな活発な議論が行われました。そのほかに、学校の耐震化や空調機器の設置の工事の契約状況の報告をいたしたところでございます。

6月12日に、再来年、平成25年度に東京多摩国体が開かれるわけですが、それに向けた府中市の国体実行委員会、私もメンバーに入っておりますので、参加をしております。

それから6月13日、都立府中高校の50周年ということで、式典に参加をしてきたところでございます。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳からご報告いたします。

5月19日、P連の歓送迎会に参加いたしました。

5月23日、都市町村教育委員会の第15回総会、自治会館でございましたのに参加いたしました。ここでは北島委員が会計監査をご報告なさいました。

5月28日、雨天で矢崎小学校、小柳小学校の運動会が実行できませんで、午前中はどこにも行けなかったわけですが、午後、少しまだ雨が降っておりましたが、先ほど齋藤委員からご報告がありましたように「JAZZ in FUCHU」へ行ってまいりました。一、二カ所行って帰ろうかなと思ったのが、何と帰ってきたのが6時過ぎだったという、本当に非常に充実した午後でした。

最初に12時からグリーンプラザけやきホールの yasuko nakatani さんのピアノの弾き語りですね。今年アメリカから帰国なさったそうです。その方を皮切りに、次にルミエール府中のコンベンションホールのほうに移りまして、午後2時からの府中4小のハーモニーブリーズジャズオーケストラの演奏を聞き、さらに50分からのSwing Bacchus という創設50周年のおじさんバンドだと言っていたらっしゃいました。そのおじさんバンドが奏でたジャック・レモンの「酒とバラの日々」のテーマだとか、カトリーヌ・ドヌーブの「シェルブールの雨傘」、私は高校のときに見た映画なのですが、非常に懐かしくて、ああ、私こんなに年とったのだというのを実感したようなわけでございます。

そして、次にまた同じところでやっておりました府中ジュニアジャズスクール、これは9カ月間、14人の小学6年生から高校3年生まで、これは選抜で選ばれて、谷口さんがアドバイザーとしてプロの人が教えたという、その9カ月とは思えないぐらいの、非常に切れのいい演奏をなさっていました。

最後に、府中の森オールスタージャズバンド、これは谷口さんを中心に年1回編成されるのだそうです。8人の方、ボーカルの方が女の方で、キーボードも女の方でした。あとは男の方でしたが、このように、4小の小学生から中・高校生、そしておじさんバンド、そしてプロの演奏とだんだん聞いていきますと、音の美しさと迫力がだんだん加わっていくのですね。

すごく不思議に思ったのは、小学生からジャズスクールの高校生まではほとんどが女の子なのです。ぽつぽつと男の子がいるという感じなのですが、しかし、おじさんバンドからプロになると、その逆で、男性がほとんどなのです。女性はいてもキーボードと歌手だということ

となので、この男の人たちはいつごろから楽器を楽しんだのだろうかとか、小学校、中学校、高校まで金管等の楽器を楽しんだ女の人たちはどこへ行ってしまったのだろうか、ちょっとその辺を不思議に思いました。

午後いっぱい五つのグループのジャズを聞いて、本当に楽しかったです。

ルミエール府中の1階のエントランスホールで同時開催されていました東日本大震災の写真には、本当に心が痛みました。「JAZZ in FUCHU」のTシャツで募金をしてまいりました。

本当に楽しい午後でございました。

6月4日、私は浅間中学校の運動会にまいりました。本当によすぎるほどの天候でしたけれども、生徒たちの席がちょうど大きく育った桜の陰になっていて、生徒たちは日焼けなどは、午前中は大丈夫かなと思いました。中学生なので、先ほど北島委員のご報告にあったように、各種の徒競走ですね。100メートルから1,600メートル、二人三脚とか、大体これ、同じようなものを子どもたちはやっているようなのですが、非常にやはり迫力があって、見ごたえがありました。

保護者の方が、もう早い時期から木陰にお昼のお弁当用のシートで場所取りをしていらっしやいまして、ああ、保護者の思いは、自分の子供が小学校時代とあまり変わらないで、中学生になっても、今はこういうふうにして親御さんが場所取りをして見るのが楽しいのかなというふうに、自分の何十年前の中学生などは、親に来るなどと言って出てきた記憶がありますので、親子関係も随分変わってきているなという印象でございました。

以上でございます。

それでは、これにて平成23年第6回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。

どうもご苦労さまでございました。



午後3時18分閉会